



ひがし風



「新たな目標設定を」

校長 伊藤 誠

長い夏休みが終わり、鴻巣東小に子どもたちの元気なあいさつと明るい笑顔が戻ってきました。静かだった学校の廊下に、子どもたちの明るい声が響いています。今日の始業式では、1学期の終業式に約束した元気なあいさつを交わすことができました。特に大きな事故等なく2学期を迎えられましたのは、保護者・地域の皆様のご協力あってこそです。ありがとうございました。

さて、第107回全国高等学校野球選手権大会は、沖縄尚学高校の初優勝、沖縄県勢2度目の栄冠で幕を閉じました。「野球がみんなの心を一つにする力があると分かりました。感動を与えてくれました。」と生徒会長の岡部さんが述べていたように、決勝以外でも多くの接戦を勝ち抜く中で、たくさんの感動をもらいました。結果もさることながら、最後まであきらめずにボールを追う姿や一つ一つの渾身のプレー、チーム一丸となって全力を出し切る様子に熱いものが込みあげてきました。勝っても負けても相手チームへの敬意を示す爽やかな姿勢が印象的でした。また、『野球ができることへの感謝』の気持ちも感じられました。本校でも、今の生活が当たり前ではなく、様々な人によって支えられているということを節目節目で振り返り、人としてさらに成長してほしいという思いを新たにしました。

球児たちは、次なるステージへ向けて新たな目標をもったことでしょう。けやきっ子たちにも今の自分の姿を見つめ、新たな目標を定めて2学期を有意義に過ごしてほしいと思っております。運動会、社会科見学等の行事の他、6年生は、陸上競技大会、修学旅行といった小学校生活最後の行事も計画しています。2学期も、子どもたちが様々な学習を通して、豊かな体験をし、自ら学び、成長してくれることを期待しています。保護者・地域の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

「学校課題研究について」

昨年度より「自ら学び、考え、行動するけやきっ子の育成」の研究主題のもと、授業におけるICTの効果的な活用法について研究を深めてきたところですが、来年度より、市教育委員会・市教育研究会の委嘱研究がスタートします。そこで、今年度からそれに向けての課題研究を行うこととし、教科・領域について検討したところ、学校課題研究を「国語科」にすることとしました。2学期から、理論研修の他、授業実践を中心に研究を推進していく予定です。言うまでもなく、言語能力の育成は全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる重要な要素です。今後も児童の実態を踏まえながら、自ら学び考える力を高めるけやきっ子の育成に取り組んでいく所存です。

